



# 幸区区民会議について

## 区民会議とは

暮らしやすい地域社会を目指して、区民のみなさんが中心となって、参加と協働により地域社会の課題の解決を図るために調査審議をする会議です。

区民会議ってよく聞くけど、どんな仕組みなの？

こんな風に地域課題の把握や選定、解決策の検討をするよ。

会議だけでなく、現場を調査したり、イベントを開催して解決策を試したりもするんだよ。

最後に地域課題の解決を区長に報告して、実践に移していくんだ。



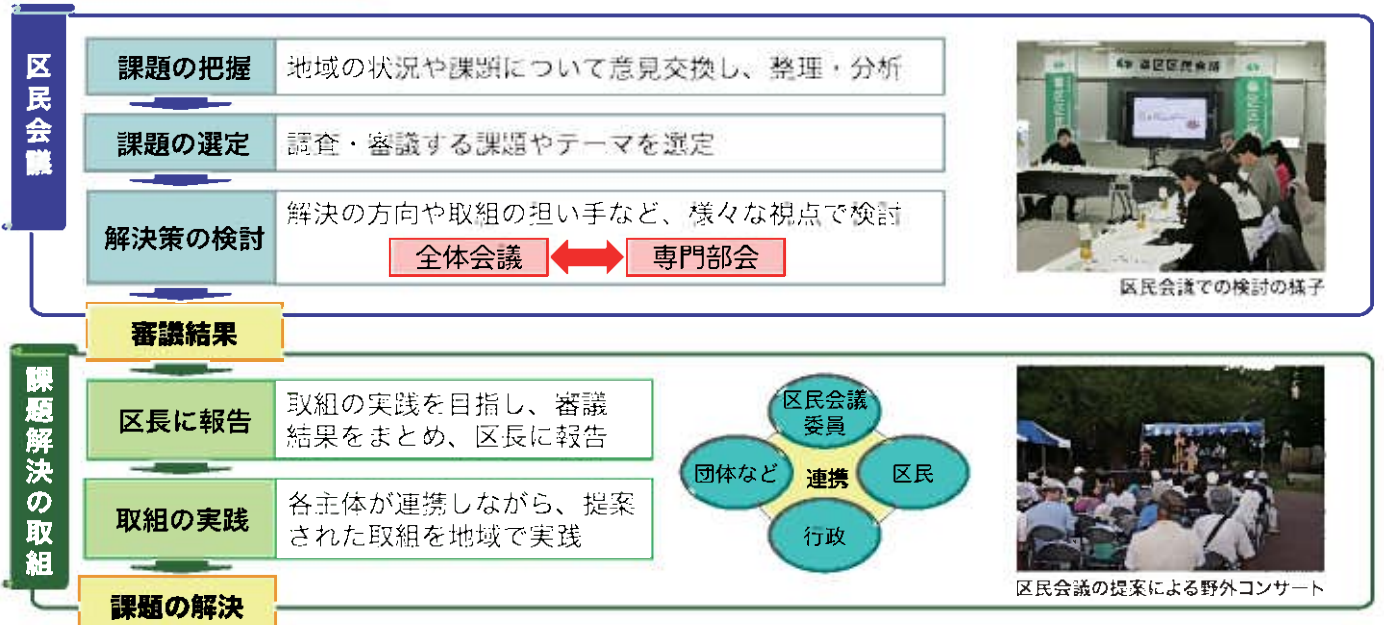
**委員長**  
区民会議を代表し、会務をまとめます。

**副委員長**  
委員長を補佐します。

**参与**  
市議会議員、県議会議員が務め、会議で必要な助言をします。

**委員**  
団体推薦・公募・区長推薦の委員20人以上で組織します。

## 課題解決の流れ



## 幸区区民会議のこれまでの取組

区民会議は2年間を1期とし、これまで3期(第1期:H18.7~H20.6、第2期:H20.7~H22.6、第3期:H22.7~H24.6)にわたって活動を続けてきました。

区民と行政の「協働」によるまちづくりにつなげるための「提言」を受け、区内で具体的な取組がなされました。



身近な公園を活用した、子どもや保護者同士が遊びながら交流できる場の提供



夢見ヶ崎公園への案内サインの設置



ゴミの分別を楽しみながら学んでもらうゲームの実施

## 第4期幸区区民会議の委員

第4期幸区区民会議は、以下の20名の委員で構成しています。委員は、地域で活動する団体からの推薦のほか、公募により市長が委嘱しています。

各委員が関心を持つテーマから、「暮らしの安全部会」「みんなで見守りたい」の2つの部会を組織しました。

(暮らしの安全部会)	
審議テーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域防災力の向上</li> <li>○自転車ルール順守の推進</li> </ul>	
氏名	推薦団体・公募
いしはら ようこ 石原 陽子	幸区自主防災連絡協議会 ※副部長
おしやま かむつ 押山 兼二	幸区交通安全対策協議会 ※部長
かみや あつこ 神谷 厚子	幸区子ども会連合会 ※副委員長
こいずみ みいこ 小泉 実意子	幸区医師会
こんどう たえ 近藤 多恵	日吉のわっ実行委員会
すずき なみえ 鈴木 奈美枝	幸区保護司会
にし の きよひこ 西野 恭一	幸区町内会連合会 ※委員長
ひたま まさひろ 昼間 政治	幸商店街連合会
みほつ はちろう 三堀 八郎	市民公募

(みんなで見守りたい)	
審議テーマ	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の見守り体制づくり</li> </ul>	
氏名	推薦団体・公募
かみや みわ 神谷 美和	幸区役所夢ごんさあと実行委員会
こば としみつ 古場 敏光	幸区まちづくり推進委員会 ※部長
せかい きよし 酒井 清	幸区文化協会
すずき たたむ 鈴木 忠夫	日吉商店街連合会
すずき みやこ 鈴木 都	市民公募
とほり かずよし 戸張 一吉	幸区老人クラブ連合会
ならげやし てるえ 楢林 照江	幸区社会福祉協議会
はら きよこ 原 紀代子	市民公募
はるた きみえ 春田 公江	市民公募
むらた せいこ 村田 清子	幸区民生委員児童委員連絡協議会 ※副部長
ゆさ えつこ 遊佐 栄津子	幸区PTA協議会

※委員一覧表は部会別、50音順で掲載しています。



# 「暮らしの安全部会」の調査審議

東日本大震災などによる防災意識の高まりや、区内での自転車の重大事故やルール違反が発生していることを背景に、「地域防災力の向上」「自転車ルール順守の推進」の2つの地域課題をテーマとして調査審議しました。

## 中学生のDIG (災害図上訓練)体験



### DIGとは

「Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム)」の頭文字を取ったもので、地図に地域の特徴を書き込み、危険な場所や災害が起きた時の行動などを話し合うものです。

### 約80人の中学生が参加

普段から防災に対する意識を明確に持つ大切さを伝えることができました。



消防署員がDIGについて説明しました

大きな地図に書き込んでいきます

## 中学生を対象とした マイ防災マップづくり

### マイ防災マップのワークショップ

実際にまちを歩きながら、避難所など安全な場所への道順や危険箇所などを確認し、白地図に落とし込むことで、しっかり把握できました。

### マイ防災マップを各家庭へ

でき上がったマップを各家庭に持ち帰ることで、地域の防災情報の共有と防災意識の向上が図れました。



まち歩きで地域の状況を確認

みんなで気付いた点を話し合います

## スケアード・ストレート方式の交通安全教室を開催

### スケアード・ストレート方式とは

スタントマンが交通事故の再現を目の前ですることで、参加者に事故の激しさや恐怖感を、伝えることができる手法です。

### イベント参加者など約3千人が参加

幸区リレーカーニバルにおいて開催し、多くの人たちに、交通事故の恐ろしさを、肌で感じてもらうことができました。



横断歩道を渡るようとする歩行者と自転車の衝突の再現

## 「暮らしの安全部会」の審議テーマと提言

審議テーマ：地域防災力の向上

### 提言

- 地震等の災害に備え、「マイ防災マップ」づくりなどの取組を推進し、防災意識や地域防災力の向上を図る



審議テーマ：自転車ルール順守の推進

### 提言

- スポーツチームとの連携や、公用車の活用などによる、自転車ルールの順守に向けた効果的な啓発活動の実施
- スケアード・ストレート方式による、効果的な自転車交通安全教室の実施



# 「みんなで見守りたい」の調査審議

隣近所との付き合いが少ないことなどにより、共に支え合う関係が希薄化してきています。また、高齢者のみの世帯が増加し、孤独死の問題などが発生していることから、「地域の見守り体制づくり」について調査審議しました。

## 見守り活動の現場を訪問

### 会食会や地域交流拠点の調査

会食会に参加しなかった人の安否確認など、様々な形による見守り活動が行われていることなどが分かりました。



おいしい食事で会話が弾みます



いつものメンバーで体を動かします

## 関係団体へのインタビューを実施

### 見守り活動が抱える課題の把握

民生委員児童委員、ケアマネージャー、地域包括支援センター等の地域福祉に携わる皆さんからは、「見守り活動に携わる人が足りない」「異変を感じたら、すぐに連絡をしてもらえると助かる」といった声がありました。



ケアマネージャー



地域包括支援センター

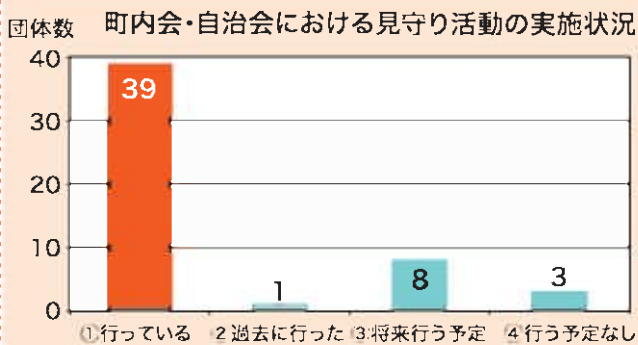
地域で見守り活動が盛んになると心強い

見守りには地域の人々のネットワークが大切

## 町内会・自治会へのアンケートを実施

### 見守り活動の実施状況を把握

回答のあった町内会・自治会のうち、76%にあたる39団体で見守り活動を行っていることが分かりました。その内容としては、防犯パトロールや清掃活動などを通じたものが多数を占めました。



## 地域の見守り活動に役立つ冊子を作成

### 活動を始めるきっかけづくり

ひとり暮らしの高齢者等の異変を把握するためのチェックポイントや、異変を発見した場合の対応の仕方など、冊子作りに向けた考え方をまとめました。

チェックポイント	
安否が心配される例	<input type="checkbox"/> 最近姿を見かけなくなった
	<input type="checkbox"/> 洗濯物が何日も干したままになっている
	<input type="checkbox"/> 何日も、 夜間に灯りが点かない 日中に灯りが点きっぱなし
	<input type="checkbox"/> 何日も、窓、カーテン、雨戸が閉められた様子がない
	<input type="checkbox"/> 新聞、郵便物が数日分たまっていく
	<input type="checkbox"/> こみが散置されていたり、塵が荒れている
心身の状態が心配される例	<input type="checkbox"/> いつも同じ服や季節に合わない服を着ていたり、髪が汚れたり散らかっている
	<input type="checkbox"/> 臭いが悪臭に見える
	<input type="checkbox"/> 球から怒鳴り声や物を投げつける音が聞こえる
	<input type="checkbox"/> 近隣とのトラブルが目立つ
	<input type="checkbox"/> 見当れない人が頻りに訪ねている

## 「みんなで見守りたい」の審議テーマと提言

### 審議テーマ：地域の見守り体制づくり

#### 提言

- ひとり暮らし高齢者等の異変を見つけた場合の対処方法などをまとめた冊子を作成・活用し、見守り活動の裾野を拡大
- 見守り活動に関するサポートなどの相談窓口や、情報発信の充実

